

1 受賞団体・個人の名称

いわてまちにんていのうぎょうしゃきょうぎかい
岩手町認定農業者協議会
 (岩手県岩手町)



(問い合わせ先)
 岩手町役場農林環境課 0195-62-2111(代)

(経歴)
 平成9年3月設立、会員数(20年3月31日現在) 8法人
 207個人

(受賞時の取組内容)
 特別栽培農産物の生産者数 76人
 特別栽培農産物の栽培面積 69ha (うち水稲 65ha)

2 生産面の取組

地域で生産されるたい肥の利用促進を進めるため、本協議会内に検討委員会を設置し、たい肥盤・たい肥舎を耕種経営体ほ場に10数箇所設置して、畜産農家の労力軽減と耕種農家のたい肥製造の関わりを持たせている。



ここで製造されたたい肥は、土壌診断に基づき、経年施用時の肥効率等を考慮して適正量施用している。

また、化学肥料節減のほか、化学合成農薬の土壌消毒に頼らない土づくり、病害虫の発生活長予測等による適期、適正防除を実施している。

3 経営面の取組

系統出荷の商品は、生産記録の記帳・保存を行い、安全性の向上に努めている。

特別栽培米は、生産者毎に区分けを行い、慣行栽培米と別施設で管理している。

販売先に「いわてまの野菜」パンフレット送付とあわせて、年間生産計画、規格、販売希望価格を添付し生産者側の情報を提供している。

4 取組の成果

製造したたい肥の製造工程が明らかとなり、成分分析等を行うことで、信頼のおけるたい肥が製造され利用できるという安心感を持つことができた。

たい肥利用啓発パンフレットを町内全戸に配布し利用促進を図ったところ、環境保全型農業の取組者が増加した。
 エコファーマーの認定者数 (10人/13年 271名/19年)
 特別栽培農産物栽培者数 (6人/16年 76人/19年)

5 地域社会への貢献

町内小学生及び父兄を対象とした農作業体験、水資源の保全、物流の仕組み等を学習する「すこやかふれあい塾」の講師を引き受けたり、ほ場を会場として提供することに協力し食農・環境教育等へ貢献している。

遊休農地等を活用した規模拡大においても、土壌診断等を実施し土壌改良を行うよう指導が行きわたっている。